



第62回日本学生科学賞和歌山県審査で賞を頂きました！！

第62回日本学生科学賞和歌山県審査において、環境科学科3年生が「和歌山県産業教育振興会長賞」を受賞しました。11/11(日)に読売新聞和歌山局で授賞式が行われ、出席してきました。2年生時にSS探究科学Ⅱで取り組んだ課題研究がこのような形で評価されたことは大変嬉しく思います。毎年、生徒の皆さんが懸命に課題研究に取り組んでくれます。また、本年度から普通科2年生理系でも課題研究が始まりました。来年度も本校の課題研究が充実するよう、みんなで努力していきたいと思います。



おもしろ科学まつり 2018 和歌山大会へ行ってきました！！

11/17(土)、18(日)にイオンモール和歌山で開催されたおもしろ科学まつり2018和歌山大会へ実験ブースを出展し、小学生やその保護者の方に科学の面白さを伝えるに行ってきました。本年度は、普通科1年生4名、2年生5名、環境科学科1年生11名、2年生9名の総勢29名の生徒が有志で参加してくれました。自分たちの実験や体験に小学生が目を輝かせており、現象の説明を伝える難しさを感じながらも、やりがいを感じ、充実した2日間となりました。また、地学部の実験ブース「人工的に雲を作ろう！～天気は変えられる～」が和歌山おもしろ科学大賞の和歌山大学協働教育センター賞に輝きました。また、ケーブルテレビのJ:COMさんにも取材して頂きました。



益川塾第11回シンポジウムで益川塾頭賞を頂きました！！

12/9(日)に京都産業大学で開催された「益川塾第11回シンポジウム」が行われました。環境科学科2年生の4名は、SS探究科学Ⅱで取り組んだ課題研究「南海トラフ巨大地震を想定した通信インフラの迅速な復旧に向けて」についてポスターセッションを行いました。その結果、最も良い賞である「益川塾頭賞」を受賞することができました。環境科学科2年生の細川君の受賞コメントが来年の1/20(日)の読売新聞に掲載されます。お楽しみに～。

